

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話: 0277-76-2211
FAX: 0277-76-2836
Eメール: kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲ 石井教育長から委嘱状を交付

8月7日(金)みどり市多世代交流館において、令和2・3年度みどり市公民館運営審議会（公運審）委員委嘱式及び令和2年度第1回みどり市公民館運営審議会が行われました。委嘱状交付の後、石井教育長より「委員の方々には、日々これから公民館活動に対し、深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げると共に、新型コロナウイルスの感染が広がる中での公民館の在り方を議論していただきたい。」と挨拶がありました。次に

委員の自己紹介と公民館から公運審の役割や運営方針の説明がありました。その中で委員より「みどり市になってから一度も公民館に詰めない。コロナ禍で公民館の在り方が変わってきており、詰問に値するのではないか。」との意見が出ました。

公民館からは「コロナ禍の公民館運営は手探り。利用者や公運審から意見をいたぎ、方針に反映させて、試行錯誤しながらやっていくしかない状況」とのことです。公運審は住民と公

令和2・3年度 みどり市公民館運営審議会委員

氏名	氏名
鎮西 宏子	○上山 利夫
工藤 靖	加藤 工太郎
小保方 まち子	白石 鏡子
清水 智依子	星野 喬子
◎山崎 君明	○古美門 愛子
荻原 浩	木戸 稔夫
山口 雅道	藤生 義道
毒島 征子	真下 陽子
近藤 巧	小林 昇

◎委員長 ○副委員長 (敬称略)

コロナ禍の公民館の在り方は みどり市公民館運営審議会委嘱式・第1回会議

謝申し上げると共に、新型コロナウイルスの感染が広がる中での公民館の在り方を議論していただきたい。」と挨拶がありました。次に委員の自己紹介と公民館から公運審の役割や運営方針の説明がありました。その中で委員より「みどり市になってから一度も公民館に詰めない。コロナ禍で公民館の在り方が変わってきており、詰問に値するのではないか。」との意見が出ました。

公民館運営審議会（公運審）は、地域の実情に応じ、地域住民の意思を大切に反映した公民館の運営がなされています。そのためにも大切な役割を担っています。

【参考】片野 親義『公民館職員の仕事 地域の未来づくりと公民館の役割』

れるために設置された住民参加の諮問機関です。館長の諮問に応じ、公民館の各種事業の企画実施につき調査審議することが基本的な役割とされています。委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱します。民主的な公民館運営を行うためにとっても大切な役割を担っています。

はじめまして！

お母さんと一緒に教室企画会議



▲みんなで相談

8月7日(金)笠懸公民館において「お母さんと一緒に教室企画会議」が行われました。

この日は、参加申込みをした親子5組が出席し、講師との顔合わせと、年間プログラムの検討が行われました。

初めは子どもたちも緊張気味でおとなしくしていましたが、講師の根岸先生の



▲根岸先生と楽しそうな子どもたち

新型コロナウイルスの収束がいまだに見えず、笠懸公民館の事業も多くの中止となっている中、この事業は、対策を徹底したうえで、無事に開催できるように準備が進み、子供たちの成長を感じられる充実した教室になるといいですね。

笠懸町花の会が8月22日(土)に笠懸公民館前の花壇の除草作業を行いました。

当日は会員13人が午前8時に集合し、作業を約1時間行いました。気温が高い中、マスクを着用しながらの作業で熱中症の心配がありましたが、無事に作業を終えました。

「笠懸町花の会」は、昭和59年6月に前身の「笠懸村花づくり愛好会」が設立され、平成5年に現在の名称になりました。今年で36



▲暑い中、作業にいそしむ参加者

年田になります。

設立の経緯について新井会長は「昭和58年に赤城国体が開催され、その時に町を花できれいに飾りました。1年で終わらせるのはもったいないということで、笠懸公民館の呼びかけがきっかけで設立に至りました」と話していました。

現在、会員は

約50人おり、笠懸公民館や地区公民館の花壇の植栽や除草などの管理を行っています。笠懸公民館前の花壇は年2回植え替えを行っています。来館した際は、ぜひ見てください。

新型コロナウイルスの影響で、多くの団体が例年どおりの活動

ができない状況ですが、様々な場面でさらなる活躍を期待したいですね。

花壇をきれいに手入れ

笠懸町花の会



▲「笠懸町花の会」のメンバー

新型コロナ
感染対策
ご協力を
お願いします



みどモス



▲ 様々な意見が出ました

第2回みどり市笠懸公民館利用者の会理事会が8月25日(火)に開催され、3つの議題について協議をしました。まずは利用者懇談会について、コロナ禍の公民館活動を考える機会にしたら良いのではとの意見があり、理事から開催に向けて進めたいとの声がありました。会としては開催方法を工夫し、開催に向けて進めてい

開催に向け前進！

利用者の会 理事会

くことに決定しました。

次に公民館大掃除について、密を避けるため、今年度は屋内より感染リスクが低い屋外を中心掃除をしました。大掃除を行う目的を再度確認し、開催する方向で進める事を決定しました。

その他、理事から教育委員会へ「Wi-Fi設置の要望書」を提出するという提案があり、議論されました。次回は各イベントの詳細を詰めていくことを決め終了となりました。

今年度は利用者の会の活動と新型コロナ対策の両立が求められています。

詳細は、笠懸公民館にお問い合わせください。

令和2年9月上旬に工事が完了し、笠懸公民館のふるさとギャラリーの照明がLEDになりました。今年度は新型コロナの影響で、展示イベントも実施できていません。ふるさとギャラリーを利⽤し、作品の展示をしてみませんか。空き状況や利用方法等の



▲ 照明が新しくなりました

高齢者大学中止

令和2年度笠懸地域高齢者大学が中止となり、8月20日に開催された笠懸地区老人クラブ連合会(笠老連)理事会で公民館から説明がありました。

公民館と笠老連では、7月から高齢者大学開催に向けて打ち合わせ会議を行ない、新型コロナウイルス感染防止対策や講座のプログラムなどを検討してきました。打ち合わせ会議では、

講座の回数を3回に減らし、会場を笠懸野文化ホールに変更するなど、感染予防対策を講じることや、群馬県の警戒度が2に引き上げられた時点で中止とすることが決定していました。

笠老連の田村幸男会長は、「今年は事業がほとんど中止になってしまった。安全対策をとつて出かける機会をつくりたい」と高齢者大学の開催に向け意欲を示していましたが、8月15日に県の警戒度が2に引き上げられたことを受け、中止となりました。

学びたいことがあつたら

自主申請制度

(生活技術・趣味の教室)を利用しよう！

笠懸公民館には、自主申請で学級・講座が開設できる制度があります。次の条件を満たしていれば、笠懸公民館の主催の教室として学びたい学習ができます。

- ①受講希望者(申請者)が15人以上いること。
- ②学級・講座の開催中の運営が自主運営できること。
- ③申請者だけでなく、広く市民によりかけられること。

(『かさかけ公民館だより』等を使い広報します)など

市民の方々の希望にそった学級・講座が組み立てられます。なお、予算に限りがありますので、希望者は早めに職員に相談してください。

また、学習内容の相談や講師の紹介もしますので、お気軽にお問合せください。

少しでもお祭りの雰囲気を

笠懸恩知会八木節演奏

8月22日(土)笠懸恩知会が、笠懸公民館の入り口前スペースで八木節の演奏を行いました。

この演奏は、笠懸恩知会の小内会長が「本来、笠懸まつりがあった日に、少しでも八木節を楽しんでもらうためにゲリラ演奏をした」というアイデアを思いつき、当日実行されたものです。

新型コロナウイルス感染

防止のため、観客は集めずに、オンラインでのライブ配信を行いました。



▲ 八木節が響き渡りました

います。例年演奏は、笠懸祭りや区の納涼祭、介護施設などで行っています。区の子どもたちへの指導もしています。

9月から練習を再開しましたが、発表の機会はまだ決まっていません。

郷土芸能文化が、このコロナ禍によって途絶えないよう、今後の動きも楽しみです。



▲ 三味線に合わせ素敵な歌声

お邪魔しまーす♪ サークル紹介③



思っていた矢先のコロナ禍。しかし、練習で歌うことでも「気分も晴れ晴れする」と代表の奥澤さんが力強く話していました。

会員募集中!!

今回、お邪魔したのは、日本民謡を歌い、時には三味線、尺八などの和楽器を演奏する「サークルWR」です。サークル名の「WR」とは「和樂」が由来だそうです。

訪ねた日は、新型コロナ対策でメンバー同士の距離を取り、先生が三味線を演奏し、マスクをつけながら歌っていました。今年は発表の場を増やしていくことと

「理髪店を床屋さんといふフリ」



最近はあまり使わなくなつたというが、今でも理髪店のことを「床屋さん」といつている人は少くないようだ。しかし、なぜ髪を切るお店を「床屋さん」といつたのだろう。

笠懸恩知会といふ名前には、恩を知ると言う意味が込められています。笠懸町在住・在勤の会員を中心に、八木節を幅広く広めるため、また次世代に語り継げるよう活動をして

この床屋という言葉が生まれたのは江戸時代のこと。男の髪を結う髪結いが「床店」で仕事をしていたため、髪結いのことを「床屋」というようになった。

床店とは、よじゅ張り

[代表] 奥澤 田舎子
[連絡先] 0277 (76) 2036
[活動日] 土曜日 (月3回)
13時30分～16時00分
[会費] 月額3,500円



学校行事と重なってしまったため、開催日を9/26（土）から10/24（土）に延期しました。

笠懸公民館主催教室

ボッチャを知らないあなたへおくる

はじめてのボッチャ

親子でトライ編

先着8組



日 時 2020年10月24日(土)
9時30分～12時

場 所 笠懸公民館 交流ホール

講 師 岩下 浩明 (みどり市社会教育課)

対 象 みどり市内在住、在勤、在学の親子
1組2人（保護者+小学生以上の子ども）
定員に達し次第、受付終了となります。

内 容 ルールの説明を受けた後、実際にボッチャの試合を体験します

ボッチャとは

障がい者のために考えられたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。老若男女、障がいの有無に関わらず、全ての方が一緒に競い合え楽しめるスポーツです。みどり市は、東京2020パラリンピック、香港ボッチャチームのホストタウンになっています。



申し込み方法

来館、メール、電話で申し込みください。

申し込み〆切10/18(日)

笠懸公民館（みどり市笠懸町阿左美1581番地1）

電話：0277(76)2211

メールアドレス：kouminkan@city.midori.gunma.jp



① 〒・住所 ② 氏名(ふりがな) ③ 学校・学年

④ 性別 ⑤ 保護者名

⑥ 保護者電話番号

*市外在住の方は勤務先
または学校の所在地

マスコットキャラクターが ボッチャ!?

9月2日(水)笠懸公民館の交流ホールで一風変わったボッチャの体験会が行われました。

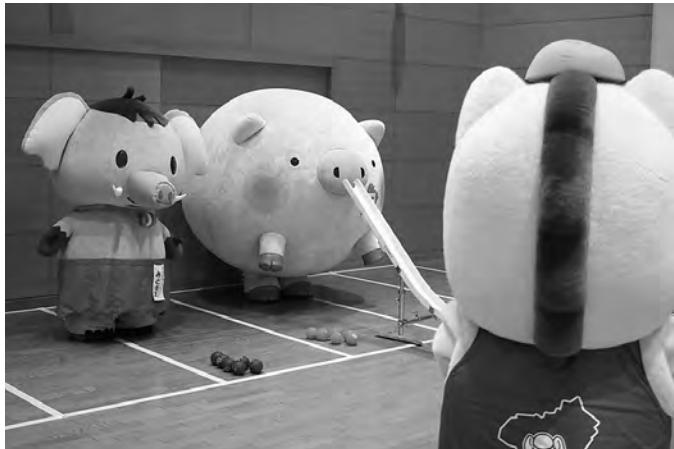
体験したのは、3体のマスコットキャラクターです。とり市といえば「ボッチャ」ということでマスコットキャラクター同士の対戦が行われました。

「ぐんまちゃん」が審判をし、「みどモス」と「ころとん」が対戦する場面も見られました。

群馬県の「ぐんまちゃん」、前橋市の「ころとん」が参加しました。

今回は前橋市から提案があり、実現したものであります。新型コロナウイルスの影響で、マスク Gott キヤラクターも活動する機会が少なくなっています。それならばと SNS を通じて PR 活動をしてしまうという思いが込められていました。

この日は、「み



▲仲良くボッチャをする3体

夏休み中の8月20日(木)、小学5年生2人(川島くんと長谷川くん)の「ゲルマニウム(ゲルマ)ラジオを作りたい」との声に、近所のおじさん2人が協力して一緒にラジオ作りをしました。ゲルマラジオの原理を説明し、材料も一緒に買いました。

笠懸町第二区の地区公民館を借りて、20mのエナメル線をラップの芯に巻き付けることから始めました。初めてなのに根気強く上手に巻き付けた2人。半田ゴテにも興味津々、「やつてみたい!」と言つて真剣に取り組んでいました。

「すげえ～できた～ 鳴ったよ!!」二区

鳴った～！夏休みの宿題ができた！」と喜んでいました。

ものづくりの面白さを知つた子どもと好奇心に応えることができた大人との楽しい時間を過ごしました。

▶前列
藤生安喜夫さん(右)
川島くん(左)
後列
藤生昇夫さん(左)
長谷川くん(右)



投稿募集

みなさんの投稿を募集します

身のまわりの出来事や日ごろ感じていること、公民館に関するご意見や感想など、なんでもお気軽にお寄せください。

◇本文(400字以内)

氏名、住所、電話番号を明記

◇しめきり 毎月10日

◇宛先 笠懸公民館

みどり市笠懸町阿左美1581の1

TEL(76)2211 fax(76)2836

Eメール kouminkan@city.midori.gunma.jp

原稿は、郵送・ファックス・メールなどご都合のよい方法で提出ください。

※紙面の都合により掲載できない場合があります。予めご了承ください。

投稿

ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しまくり毎月10日)

トリプルパンチの夏

(せ)

今年の梅雨は長梅雨で、7月などは記録的な日照不足となり、農産物に大きな影響を与えました。8月1日に梅雨明けしましたが、一変して猛暑続きの日となり、8月11日においては桐生、伊勢崎で40・5度を記録し、群馬県の最高気温を13年ぶりに更新しました。

【俳句】

コロナ禍の 息耐えがたし 夏マスク
生計も 息も絶え絶え コロナ禍な

暑い暑い夏に、新型コロナウイルスは収まる気配はなく、うつらない、うつさない為にマスク掛けての夏になりました。
長雨に猛暑そしてコロナで、各地のお祭りや花火は中止になりました。まさにトリプルパンチの夏です。時にはこのような年もあるのだと思います。今年は

耐えて我慢して、来年は楽しさも喜びも倍返しの夏にしたいのです。

公民館喫茶コーナー

ペちゃくちや coffee

開店日・開店時間のお知らせ

ぜひご利用ください!

開店日 火～土曜日

開店時間 10:00～15:30

(公民館や文化ホールで開催される事業・催し物などにより変更する場合があります。)

炎天での野球を終へて昼食に孫は所望す鍋焼きうどんをどうするかゴーツートラベルキヤンペーン行きたくもあり行きたくもなし暑さにもめげず野に立ちおもむろに八十路半ばが仕事にかかる濃みどりの葉陰にひつそり咲き残る紫露草見守りている子・孫・ひ孫集ひて夫の七年忌無事に済ませり安堵のひと日訪ねたき所なしとは思はねど不満ともせずけふも畠這ふかぶと虫のむくろをつつく鳥ゐて朝の舗道も今日より残暑

上村 征子 上山 利夫 橋内 文夫 近藤ふさ子 久保田茂子 平山 定夫 関口 勇

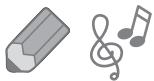


赤城嶺や覚満淵の吾亦紅秋暑し足腰鍛錬鹿田山菩提寺の寄贈の樹木ほふし蟬悦に入る夫の朝顔百花咲く星月夜仕事上がりの妻の所作茄子漬けの夫の自慢を御裾分け催促の仕立の忙し盆の月桐生川夫婦で流す魂送り花木槿妻の愛した一枝を庭に咲く桔梗を壺に生けし夫ひぐらしの鳴きし登るや夫の墓百日紅二匹の犬に急かされて藏の街菓子屋横町秋の風秋風や尼僧の寺の夫の墓骨董品ときに取替へ秋に入る久びさに孫も揃ひて迎へ盆赤らみぬ蟲鬼灯を佛にもたんざくの漫画を吊す星祭好物のカット西瓜を持ち来る娘亡妻の墓を拭ひつ盆用意地蔵盆ジュークスピアのケアハウス寂しげに秋風鈴の鳴る屋敷生身魂所望の好物申し出るままごとの孫のママやく秋暑し盆の風ほほを撫で行く山の寺ねこじやらし猫の土産に二三本回り灯籠仏の夫と語り合ふ星合ひの夜に別れを言ふ女聴人のありて演歌よ天の川かなかなや読経の流る山の寺充電のコードをたぐる夜長かな文月や君の手紙を読み返す

金宇石冠 韓村糸新 金楳横徳須 今吉久保多田小林津久井薔薇華笑 佐藤東宮中谷前原田中糸
野原 田井羅井沢倉田真下小糸井井田金井田村田平山利夫和義風江紅蘭邦狐春小春一女紫蘭邦幸佳
百日梅光春夕山仙寿音音和稔和義風江紅蘭邦狐春小春一女紫蘭邦幸佳
光勘青二郎大蓮郎紅町光海順蘭雅子月寿音音和稔和義風江紅蘭邦狐春小春一女紫蘭邦幸佳
月



四季の会 八月句会



笠懸公民館を使ってみよう！



公民館には、サークル活動室や和室、交流ホール、ギャラリー、こどものお部屋、音楽室などいろいろな部屋があります。これらの部屋は、団体・サークル活動（原則7割以上の方が市内在住・在勤・在学の団体・サークル）はもちろん、個人の学習活動にも無料で利用できます。サークル活動や会議、学習会、学習成果の発表やイベントなど、活動や目的に合わせて自由に使えます。また、交流・くつろぎの場として交流ロビーや喫茶コーナーもあります。

部屋を利用するには予約が必要です。利用希望日の前月から予約できますので、受付時間内に来館のうえ予約してください。（個人の利用は、利用日の3日前から）部屋の空き状況を確認した後（空き状況の確認は電話でもできます）、申込用紙に必要事項を書き込むだけで予約できます。

（毎年度はじめての利用の場合は利用調査表を提出していただきます。）

ただし、営利・政党・宗教活動を目的とする利用などは、会場や備品を提供できない場合もありますので、職員にご相談ください。

詳しくは、笠懸公民館までお問い合わせください。

《受付時間》火曜～金曜

9：00～20：00

土・日曜・祝日

9：00～17：00

《開館時間》火曜～土曜

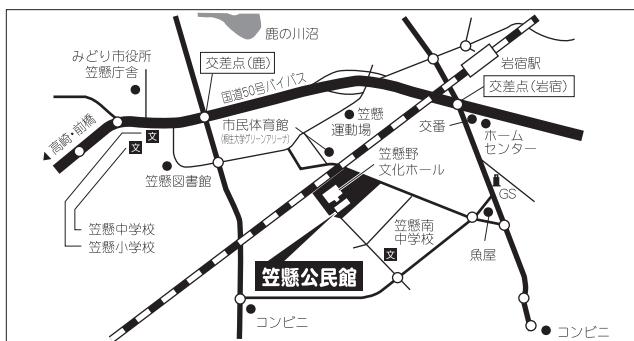
9：00～22：00

日曜・祝日

9：00～17：00

《休館日》毎週月曜日 年末年始（12/28～1/4）

臨時休館もあります



みどり市笠懸町阿左美1581-1 TEL 76-2211

投
稿

「松代城」歩遊人 (15)



▲松代城

松代城は日本100名城の一つで、資料によれば1560年頃、武田信玄が山本勘助に命じて築城させた城で、北信濃を支配する目的だったようです。築城当初は海津城と呼ばれ、上杉謙信との川中島の戦いの舞台となつたことで知られています。信玄の死後、織田信長の家臣や上杉景勝が入城するなど、城主は変転したようで、1622年、真田信之が城主となり、三代目の真田幸道のとき海津城から松代城に改めたとあ

冬、山を歩けば、ヴィヴァルディの「冬」、夏に北アルプスの縦走ではリヒヤト・シユトラウスの「アルプス交響曲」のメロディが脳裏を駆け巡った。そして、越前の海

昭和24年に作られたという「夏の思い出」という曲、昭和37年にラジオで放送されて知り尾瀬の地を踏んだ。音楽と自然、山に憧れ歩いた日々を懐かしみつつ巣ごもりの日を過ごしている。（余）

りよつと一息



コロナ禍で外出の自粛が求められている昨今、

当然家にいる時間が多くなった。テレビで放映しているエンタメ番組に興味を持たない私は、必然的に音楽に耳を傾けていた。音楽といつても歌謡曲や演歌は少々苦手で、好んで聞く音楽は自然を描写した曲が多かった。

そんな情景の中で、愈しの一つにベートーヴェンの「田園交響曲」がある。特に好きな旋律は、嵐の去ったあとヒトが自然に畏敬の念を持ち、恵みに感謝する描写が素敵だと思う。

近年、本丸石垣や内堀等が修築され、本丸大手の太鼓門や搦手の北不名門。さらに石垣、土塁等が復元されました。復元された本丸隅櫓の石垣は野面積で一見の価値があります。

電鉄河東線（元信越本線）屋城跡は廃止となつた長野電鉄河東線（元信越本線）屋

代駅～須坂駅24・4km平成24年3月31日廃止）の旧松代駅前から徒歩5分の地にあります。また、市内には真田宝物館や歴史的建造物などの見所がたくさんありますので、散策することをお勧めします。